

新型コロナワクチン接種のお知らせ



接種は
無料です

[HP番号: 16059]

新型コロナワクチン接種について、9月3日から接種当日12歳以上の方の予約受付を開始します。

なお、今回は広報ひこね10月号で今後の予定をお知らせしますが、次回以降は従来よりも接種の規模を縮小して実施する予定です。

接種を希望される方は、今回予約開始分でのご予約をお願いします。

9月3日(金) 午前8時30分から予約開始分の対象となる方

・接種当日12歳以上の方

予約時の留意事項

- ・接種は完全予約制です。必ず予約をした上で会場にお越しください。
- ・現在、彦根市の個別接種および集団接種で使用しているファイザー社製ワクチン(接種当日満12歳以上が対象)は1回目の接種から3週間後に2回目の接種を受けることとなります。1回目の予約時には、必ず3週間後(2回目)の予定を確認した上でご予約をお願いします。2回目の接種も同じ医療機関(会場)、同じ時間帯で、同じ種類のワクチン接種となります。2回目接種予約に関して、ご本人の希望日時で予約できませんのでご了承ください(ただし、個別医療機関によっては予約方法が異なる場合があります。その際は各医療機関の指示に従いご予約ください)。
- ・各集団接種会場やコールセンターを利用する医療機関への直接のお問い合わせはお控えください。
- ・職場(職域接種)や大規模接種会場などで接種された方が2回目を彦根市の個別接種および集団接種で受けることはできません。
- ・予約する医療機関(会場)は1か所のみとし、絶対に重複した予約はしないでください。
- ・原則として、新型コロナワクチンとその他のワクチン(予防接種)は同時に接種できません。また、新型コロナワクチンとその他のワクチンは、互いに、片方のワクチンを受けてから2週間後に接種できます。

未成年者の接種について

保護者(親権を行う者または後見人)の方は、ワクチンの説明書をよくお読みいただき、ご納得されたうえで、お子様に接種するかを選択するようお願いいたします。なお、接種時には母子健康手帳もご持参ください。

接種当日年齢	保護者の同伴	予診票に保護者の署名
16歳以上の方	不要	不要
12~15歳の方	必要	必要

12~15歳の接種においては、保護者の同伴が必要となります。やむを得ない理由により保護者の同伴ができず、お子様の健康状態を普段からよく分かっている親族(例:祖父母)などが同伴される場合は、保護者からの委任状の持参が必要です。詳しくは彦根市ホームページでご確認ください。また、予診票には保護者の署名が必要となり、署名がなければワクチンの接種は受けられません。なお、12~15歳の方は、かかりつけ医での個別接種が推奨されています。

16歳以上の方につきましても、保護者の同伴は不要となっておりますが、緊急時の対応が必要な場合もありますので、可能な限り保護者の同伴をお願いします。同伴なしの場合は、予診票の「電話番号」記載欄には、緊急連絡先(必ず保護者の方と連絡がつく電話番号)と続柄を記入してください。

令和3年8月13日時点での情報です。国からのワクチンの供給や予約状況によりお知らせしている接種スケジュールが変更となる場合があります。最新の情報は彦根市ホームページなどでご確認ください。【HP番号: 16059】

新型コロナワクチンを接種した後の副反応などについて

現在、日本で接種が進められている新型コロナワクチンは、いずれも、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果が期待されています。ただし、接種直後または数日以内に現れる可能性がある症状もあります。

参考)厚生労働省 接種後の配布用リーフレットより抜粋

接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

接種日当日

症状	説明
アナフィラキシー	・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。 ・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下(呼びかけに反応しない)を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。 ・起こることは極めてまれですが、接種後にもアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。
血管迷走神経反射	・ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。 ・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。 ・倒れてケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子を見てください。

ワクチンを受けた日の注意点

- 通常の生活は問題ありませんが、激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。
- 接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分は強くこすらないようにしましょう。

接種後、数日以内に現れる可能性のある症状について

数日

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10~50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1~10%	吐き気、嘔吐

- ・接種直後よりも翌日に痛みを感じている方が多いです。
- ・これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
- ・疲労や関節痛、発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。

コミナティ(ファイザー社) ワクチン添付文書より改編

○ごくまれですが、軽症の心筋炎・心膜炎を発症した例が報告されています

- ・ワクチンを受けた後、数日以内に、胸痛、動悸、息切れ、むくみ等の症状があれば、すぐに医療機関を受診し、ワクチンを受けたことを伝えてください。
- ・報告されているものでは、若い方、特に男性において2回目の接種後数日以内に発症する例が多い傾向が見られます。
- ・心筋炎と診断された場合には、一般的には入院が必要となりますが、多くは安静によって自然回復するとされています。

ワクチンを受けた後、数日以内に起こるかもしれない症状(注射した部位の腫れや痛み、筋肉痛・関節痛、発熱など)以外が起こった場合は、滋賀県新型コロナウイルスワクチン専門相談窓口へご相談ください。また、2日間以上熱が続く場合や、症状が重い場合などは医療機関等への受診や相談をご検討ください。

滋賀県新型コロナウイルスワクチン専門相談窓口(土・日・祝を含む24時間受付)
9:00~18:00 ☎077-528-3588 それ以外の時間 ☎077-528-3621
FAX.077-528-4867 ✉corona_vaccination_shiga@medi-staffsup.com

厚生労働省ホームページ: 新型コロナワクチンQ&A

ワクチンの安全性と副反応やその他、コロナワクチンに関する情報が掲載されています。

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>



比較的良好に起こる副反応以外にも、副反応による健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が生じることがあります。極めて稀ではあるものなくすことができないことから、救済制度が設けられています。健康被害が予防接種によるものであると厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられます。